

競技規則

本大会は、令和8年度版全国障害者スポーツ大会競技規則及び、第36回交流水泳大会申し合わせ事項によって行います。

第36回 交流水泳大会 申し合わせ事項

◆ 競技について

1. 今年度より障害区分が変更となっております。障害区分一覧表をご確認いただき申し込み用紙へ記入してください。
2. 身体障がい、内部障がい、65歳以上の出場者は受付時に、メディカルチェックを受けてください。メディカルチェックの結果により参加をお断りする場合がありますので、予めご了承ください。
3. 招集について
 - 第一招集場所は体育館とします。最終招集はプール内です。
 - 招集時間は競技開始3組前からとします。
 - 同伴者は招集時に同伴ゼッケンを受け取ってください。数に限りがありますので、1レースごとに招集係に返却してください。
4. スタートは水深が浅いため、飛び込み台を使わずに行います。
5. スタートのやり直しは行いません。他の選手がフライングしてもスターターの号砲でスタートしてください。
6. スタート時は、審判長の合図でスタート位置に立ち、足の指を前縁にかけてください。
(水中からのスタートの場合は笛の合図で水中に入ってください。)
7. 合図棒を使用する場合は、招集時にも係員に申し出てください。
8. 当日の参加競技種目の変更や追加はできません。
9. 25mビート板について
 - ① 飛び込みでのスタートは行いません。
 - ② 水底に足が着かないなど、安全確保のための伴泳は認めます。申込書の「その他(希望・要望など)」の欄に「伴泳あり」と記入し申し込んでください。
10. 区分番号16の浮具とは浮力を補助するためのスイミングヘルパーやアームヘルパーなどをさします
11. 区分番号17はブラックゴーグル着用が望ましい。
12. 水着は国際水泳連盟の公認した水着でなくても可とします。
13. 競技中の事故・傷病については応急処置のみとし、その他の責任は負いません。
各自十分ご注意ください。
14. ビート板リレーは、選手全員がビート板を持ち実施します。選手は壁にビート板をタッチし次の選手がスタートとします。

◆ その他

1. 記録速報は体育館に掲示します。
2. 貴重品については、各自責任をもって管理してください。
3. プールサイド、体育館内は土足厳禁です。靴は各自で管理してください。
また通路をふさぐことのないようにしてください。
4. 準備体操は各自十分、行ってください。
5. 参加者控え場所は体育館をご利用ください。
6. 体育館内の食事は可能です。シートを持参してご利用ください。
(大会当日は大会参加者以外の方も施設を利用しますので、互いに譲り合いながらご使用ください。)
7. 招集時には、水着を着用し、泳げる準備(帽子、ゴーグル等)を持参し、上着を着て
第一招集場所(体育館)に集合してください。可能な限り自分の荷物がわかる袋をご持参ください。
シャワー用車いすをお使いになる方は、台数に限りがありますので使用後は元に戻してください。
また、やむを得ない場合はご使用中一時的にお借りすることもありますのでご協力をお願いいたします。
8. 許可なしの写真、映像の撮影は禁止とします。撮影許可は当日大会受付にて申請してください。
(※スタート時のフラッシュ撮影は禁止です。)
9. 参加者全員(25m水中ウォーキング・ビート板除く)に泳法チェックを実施し、日頃の練習の参考に
していただけるよう、記録証と一緒に「泳法チェック用紙」をお渡しします。
10. 男女更衣室で着替えが困難な方、異性介助による着替えが必要な方のために多目的更衣室があります。
利用の場合は大会受付にお申し出ください。
11. 体育館は天候によって冷えることがありますので、バスタオルや毛布など各自準備してください。
12. プール内に観覧エリアを設けます。2 階プール観覧席からの観覧も可能ですが、立ち見のみとします。
場所取りや長時間のご観覧はご遠慮いただき譲り合ってのご観覧をお願いいたします。
13. その他、競技役員の指示に従ってください。

以上